

# 君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	自主臨床試験「経皮経肝胆囊ドレナージ（PTGDB）チューブ抜去のタイミングに関する検討」への参加（倫理委員会承認番号：378）
当院の研究責任者 (所属)	吉田 有（消化器内科）
他の研究機関及び各施設の研究責任者	主任研究施設：東千葉メディカルセンター消化器内科 研究代表者：東千葉メディカルセンター消化器内科 副部長 龜崎 秀宏
本研究の目的	主に胆囊結石（胆石）により引き起こされる急性胆囊炎に対する治療として実施される経皮経肝胆囊ドレナージの実施状況を調査し、胆囊炎終息後のチューブの適切な扱い方（とくに胆囊炎が治まった後にチューブを抜くことが可能かどうか、抜く時期はいつがよいのかなど）について考察することが目的です。
調査データの 該当期間	2014年4月から2017年11月まで
研究の方法 (対象となる方)	該当期間に当院消化器内科若しくは外科で経皮経肝胆囊ドレナージをお受けになった患者さま
研究の方法 (使用する情報)	この研究は、文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記載されている血液検査や画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究であり、特に患者さまに新たにご負担を頂くことや追加検査を行うことはありません。
資料・情報の他機関 への提供	多施設共同研究であり、共同研究先である上記の研究機関・研究責任者のみへ提供します。

個人情報の取扱い	この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることはないよう、慎重に取り扱う必要があります。患者さまの臨床情報・データは、分析する前に氏名・住所などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、東千葉メディカルセンター（主施設）並びに君津中央病院（副施設）の医局の鍵のかかる棚で保管します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	君津中央病院消化器内科 吉田 有 電話：0438-36-1071
備考	研究の成果は、患者さまの氏名など個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公表する予定です。またご希望があれば研究データを統計データとしてまとめたものを開示いたします。